

おじゃま猫とたまご

おんがくおしばい

演者自身が、楽器を奏でながら、歌い、演じる、音楽いっぱいのおさなおしばい！

おじゃま猫ものがたり



上演時間
約80分



おじゃま猫と小さなともだち



おじゃま猫とたまご

+

おじゃま猫と小さなともだち

※これまで別作品として上演してきた2つのエピソードを、ひとつながりの舞台として構成しました。

おじゃま猫のニャーゴと華奢猫楽士が、迷子の“小さなともだち”ティティを家族に帰してあげようと、砂漠を越え、海を越えて、たどり着いた先で拾った不思議な「たまご」。
コウノトリさんに命を宿してもらい、夏秋冬と季節は巡ります。そしてついに春になると…！



『おじゃま猫とたまご』は、

「赤ちゃんの可愛いお耳にやさしく響く自然音をいろんな楽器の音で届けたい」という想いと、“たまご”から新たな“いのち”が誕生するまで10ヶ月間ひたすら見守り続けるニャーゴを通して、子どもたちに“あなたは決して1人ではないよ”と伝えたいという想いを込めて、50ほどの楽器と音具で自然音を表現し、お芝居と、コントラバスとギターの弾き語りで綴ります。

『おじゃま猫と小さなともだち』は、愛と冒険の友情物語。

時にはンカもするなかでニャーゴと心のつながりを深くしてきたティティは、やがてニャーゴよりも早く大人になって、旅立っていきます。別れはつらいもの。けれど、大切な人と共に過ごした時間の思い出は、その先の人生の心の支えとなるかけがえのないもの。そして、また会えると信じていれば、きっとまたどこかで出会える…この世に生まれた奇跡、出会えた奇跡に感謝して、今を大切に生きてほしい、そんなメッセージを込めた物語です。



音楽は、ギターとコントラバスの弾き語りに加えヴァイオリンの繊細で荘嚴な音色とハーモニーを生かして弦楽編曲した、金子忍によるオリジナル曲。

詞のこばから紡ぎ出す詩情豊かなメロディーと心の琴線に触れる優しい歌声に、四季折々の風景や登場人物の心情を重層的な音色で彩るパーカッションが加わり、豊かな音楽性が広がります。

【出演】

吉田水子・金子 忍・石井有子
大里みどり（パーカッション）



吉田
水子
企画

吉田水子企画

Tel. 050-3746-1566 Fax. 050-3737-0238
E-mail=minaco@cotori.jp
<https://yoshidaminacoplanning.jimdofree.com>

猫をこよなく愛するコントラバリスト・吉田水子（よしだみなこ）と作曲家&舞台表現家・金子忍（かねこしのぶ）を中心に、“いのち”をテーマにした音楽劇・コンサート等を制作・上演。“この世に生を享けた奇跡への感謝”と、“自分のいのちもまわりのいのちも共に大切にすること”を、表現しています。

